

平成 2 2 年 6 月

富 山 市 議 会 定 例 会

市 長 提 案 理 由 説 明 要 旨

平成 22 年 6 月定例会市議会の開会にあたり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

先般、普天間基地問題の迷走などの責任をとって鳩山前総理大臣が辞任され、菅新政権が発足しました。

この政局の混乱により、終盤国会の審議日程も大幅に乱れております。

このため、地方 6 団体が今国会での成立を強く求めていた、いわゆる「地域主権関連 3 法案」の審議の見通しも不透明となっております。

菅新政権におかれては、1 日も早く国民の政治に対する信頼を回復され、喫緊の国政の諸課題に対応されるとともに、民主党政権の基本政策である「地域主権改革」についても、鳩山政権下で策定された工程表に沿って、遅滞なく取り組まれるよう、要請するものであります。

次に、最近の経済情勢等について申し上げます。

5 月の月例経済報告によれば、景気は、着実に持ち直してきているが、なお自律性は弱く、失業率が高水準にあるなど、厳しい状況にあるとされております。

先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、企業収

益の改善が続くなかで、海外経済の改善や緊急経済対策を始めとする政策の効果などを背景に、景気の持ち直し傾向が続くことが期待されております。

しかしながら、欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の動向やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要があるとともに、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要であるとされております。

また、県内経済においても、雇用情勢は依然として厳しい状況にあります。個人消費は一部に持ち直しの動きがみられ、設備投資は下げ止まりつつあるなど、引き続き持ち直しの動きが見られます。

本市においては、平成 21 年度 3 月補正予算に、「きめ細かなインフラ整備」等を支援する国の交付金を充てた事業を前倒しすると共に、雇用の確保や中小企業支援策を盛り込んだ本年度当初予算を、通年型の予算として編成したところであり、現下の厳しい経済情勢に対応するため、3 月補正予算と当初予算を一体として執行することにより、地域経済の下支えに努めてまいりたいと考えております。

(提出案件について)

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

はじめに、予算案件については、喫緊の課題に対応するための経費などについて補正を行うものであり、一般会計で、8,900 万余円を追加するものであります。

歳出予算の内容は、本年2月に土砂崩れの影響で被災した、市道小坂折谷線の橋りょうなどの災害復旧に要する経費や、風雪等による森林の被害状況等の調査に要する経費の他、緊急雇用創出事業の拡充に要する経費、富山地方鉄道のバスICカードシステムの導入に対する補助金などを計上しております。

篤志によります寄附金については、「ふるさとぬくもり基金」に積み立てるものであります。

これらに要する財源としては、事業に伴う国・県支出金、地方債などを充てております。

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市職員の育児休業等に関する条例及び富山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例」を制定するものなど6件であります。

契約案件については、富山市救急医療センター移転改築主体工事の

請負契約を締結するもの1件であります。

その他案件については、土地処分の件など4件であります。

承認案件については、専決処分について承認を求めるもの4件、報告案件については、損害賠償請求に係る和解の専決処分について報告するもの1件、平成21年度の予算を翌年度に繰越使用することについての報告9件、財団法人富山市ガラス工芸センターなどの市出資法人について経営状況を報告するもの21件であります。

(平成21年度決算見込みについて)

なお、この機会に平成21年度の決算見込みについて御報告申し上げます。

各会計の決算については現在調製中ではありますが、一般会計の決算では、実質収支で剰余金が生じる見込みであります。

また、特別会計におきましても、若干の剰余金が生じる見込みであります。

企業会計におきましては、収益的収支では、水道事業、工業用水道事業及び公共下水道事業においては利益が生じる見込みであります。が、病院事業では損失が生じる見込みであります。

また、資本的収支では、水道事業、工業用水道事業、公共下水道事業及び病院事業において資金不足が見込まれますが、この資金不足に

つきましては、内部留保資金などで補てんすることとしております。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。

何とぞ慎重審議のうえ、適正な議決をいただきますよう、よろしく
お願いいたします。